



2016 年度

「勉強に役立つ日本語クラス」

報告書



神戸YWCA学院

日本語コース

1. 趣旨

近年、日本の公立学校で学ぶ外国にルーツを持つ子どもたち（日本国籍も含む）が増えている。義務教育の現場で日本語が分からない生徒がクラスにいる場合、ただでさえ忙しい教師がさらにその子どもに十分に対応することは、日本語指導の面でもクラス運営でも難しい現状がある。

その対応として、県や市からの派遣によるサポーター・システムがあり、教員と児童生徒とのコミュニケーションを支援する「子ども多文化共生サポーター（兵庫県）」や「外国人児童生徒受入校支援ボランティア（神戸市）」による支援が行われている。しかし、支援日数が限られていること、また、支援に携わるサポーターやボランティアは通訳者であって、日本語指導者ではないことが課題となっている。地域によってはボランティア教室との提携による支援体制も整いつつあるが、学習時間は限られている。

子どもたちは、学校等で友だちができれば日本語で簡単な意思疎通ができるようになる。すると、教師、両親などは日本語を習得したと考えがちであるが、これは誤解である。

日本語は“話し言葉”と“書き言葉（いわゆる文章に表れる日本語）”が大きく異なる。友だちとのコミュニケーションができるからといって、“書き言葉”で書かれた教科書の日本語が理解できるわけではない。彼らに必要なのは、日本語を第二言語として構造から学ぶことである。“書き言葉”の文法や語彙を会得してこそ、教科書が理解でき、知識の習得ができるようになる。

神戸YWCAは1950年代から約60年にわたり専門学校として日本語教育を行ってきた実績と、効果的な日本語指導のノウハウを持っている。現在は公益財団法人としてより地域に密着し、多文化共生を実現するための活動を進める中で、地域に暮らす子どもたちの日本語支援にも力を注いでいる。2008年から始まった「勉強に役立つ日本語クラス」（旧：学校に入るための日本語クラス）は、夏休み3週間集中的に日本語の構造を学び、学校の授業につながる日本語を身に付ける機会となっている。資料代のみで授業が受けられ、数学・英語等の科目を学習するために必要な日本語も学ぶ。

また、心理面での困惑を抱えた子どもたちも多い。

多くが両親の都合等で来日しており、彼ら自身が日本に来た理由を納得できていない場合もある。神戸YWCAで3週間毎日同じような境遇の友だちと出会い、共に勉強することで、ここは彼らの「居場所」になる。日本語の理解不足により学校では表情の堅かった子どもが、間違った答えであっても平気で言える雰囲気がある。ほかの皆も同じだから、挑戦しようという気持ちになるのであろう。積極的に参加する彼らからは、「学習することが楽しい」と思っている様子が伝わってくる。

子どもたちのほとんどは、日本に定住し、将来社会に出ていく。その時に、持てる能力を活かし、日本人と共にこの社会を支える人になってほしい。

このような願いから「勉強に役立つ日本語」を実施している。

2. 内容

(1) 対象

来日してから正式な日本語教育を受けていない、
13歳から18歳くらいの外国にルーツのある子ども（日本国籍を持つ子どもも含む）。

(2) 日時

2016年8月8日（月）～8月26日（金） 14日間

日本語：9:30～12:10

科目（数学・英語・地理）：12:20～13:20

(3) 学習内容

クラス1 短期集中型の日本語初期指導。基礎的な日本語を習得することを目的としている。

(8人)

効果 日本語能力を全く身に付けられない状態で参加した子どもは、文字や会話や文法を学び、簡単なコミュニケーションができるようになった。読解にも挑戦した。

クラス2 日本語初期指導、および学習言語の指導。読解力を高めるための基礎作りを行う。

(11人)

効果 日本語の構造に対する意識、正確な動詞・形容詞の活用に対する意識が高まった。読解をするための基礎的な力をつけ、文を読むことや書くことに自信をつけた。

共通 科目指導。科目の用語、指示の日本語などを学び、科目学習につなぐ。

効果 今年度は英語、数学、地理の科目指導を行った。レベルを2つに分け設問の指示文への理解や、英語や数学そのものへの理解を高めた。

(4) テキスト

日本語教育においては、一般人向け、子ども向け、留学生向けなどの様々なテキストが市販されている。このクラスでは当初、市販のテキストを使うようにしていたが、クラスの趣旨に合うものがなく、2013年度から自主教材を作成し、毎年改定作業を行っている。

子どもたちが対象であるということや、短期間で集中的に日本語能力を伸ばす必要があることを考えたとき、市販のテキストを使用すると、一つひとつの文法項目をこなすのに時間がかかってしまい、あっという間に3週間が過ぎてしまう。神戸YWCAのオリジナル教材は、それぞれの文法項目をコンパクトにまとめており、短期間で効果的に日本語を身につけることができる。

また、普段の学校生活では意識されない「日本語の構造」に焦点を当てた学習ができるよう工夫されている。読解教材も、日本語教育の観点から日本語を外国語としてとらえて作成されており、読解基礎力がつく内容になっている。

この3週間子どもたちがYWCAで学んだ日本語は、学校に戻った後も、きっと彼らに自信を与えてくれるものとなるだろう。

(5) カリキュラム表

	8月8日(月)	8月9日(火)	8月10日(水)	8月11日(木)	8月12日(金)
クラス1	名詞文1 / 自己紹介(何人) かな・清濁	名詞文2 拗音	名詞文3 長音	祝日	～を 食べます他 時制 拗長音
クラス2	自己紹介 て形1 ～てください	て形2 ～てもいいですか ない形1	ない形2 なければなりません		た形1 ～たことがあります
教科	日本語	地理	数学		数学
	8月15日(月)	8月16日(火)	8月17日(水)	8月18日(木)	8月19日(金)
クラス1	～へ 行きます、 来ます、帰ります 助詞、促音	形容詞文1 カタカナ(ア～サ)	形容詞文2 カタカナ(タ～ハ)	が 好きです、 わかります 他 カタカナ(マ～ヲ)	います・あります (存在文)
クラス2	た形2 ～たり、 ～たりします	友だちとの会話1	友だちとの会話2 ～なります	～とき 読解基礎1	名詞修飾 読解基礎2
教科	英語	英語	英語	数学	英語
	8月22日(月)	8月23日(火)	8月24日(水)	8月25日(木)	8月26日(金)
クラス1	ほしいです たいです ディクテーション	て形 ～てください ディクテーション	形容詞・名詞過去 ディクテーション	友だちとの会話	最終テスト やりもらい
クラス2	～と思います 読解基礎3	～てもらいます ～てくれます 読解基礎4	たら・ても 読解基礎5	可能動詞 読解基礎6	最終テスト 読解基礎7
教科	読解	数学	読解	読解・作文	修了式・スピーチ

(6) 授業見学会&修了式

8月26日(金)に授業見学会を実施した。

ご寄付をいただいた方々、子どもたちの所属学校の先生、ボランティア教室の指導者等 20 人の方々に、日本語授業を見学していただき、続いて修了式に出席いただいた。

アンケートでは、「クラス1とクラス2で、学習内容が違うのが興味深かった」「子どもたちがほんとうに楽しそうに学習しているのが印象的だった」「異年齢でのグループ学習が、居場所づくりという点でとてもよかった」などの感想をいただいた。

(7) プログラム修了後の支援 “はっぴー・すくーる” “はっぴー・さぽーと”

「勉強に役立つ日本語クラス」が修了した後も年間を通じて支援を続けている。

月 1 回、原則第 2 土曜日に実施している「はっぴー・すくーる」は、クラスを修了した子どもたちが再び神戸YWCAに集う居場所づくりを目指す。通っている学校の様子や進学について、おしゃべりをしたり、みんなでゲームをしたりして楽しい時間を過ごす。

また、毎週土曜日に開催されている「はっぴー・さぽーと」では、苦手な教科を日本語指導のできる教科担当教師と共に学ぶことができる。

このように、「勉強に役立つ日本語クラス」が修了した後も継続的なプログラムを実施することで、子どもたちがのびのびと自分らしくいることができる環境づくりを行っている。

(8) 地域とのつながり

「勉強に役立つ日本語クラス」に参加する子どもたちも、神戸YWCA 近隣地域のイベントに参加し、地域の方々と交流しつつ、日本の夏祭りを楽しみながら経験した。

○二宮市場 夏祭り

7月 23 日 (土)

はっぴー・すくーるに通う、昨年度までの「勉強に役立つ日本語クラス」の修了生も参加した。神戸YWCAの生徒はポップコーン売場を担当した。

○若菜地区 夏祭

8月 21 日 (日)

本番に先立ち、8月 17 日 (水) には若菜地域福祉センターで行われた盆踊り練習に参加した。当日は、練習に参加した子どもたちに加え、数年前にこのコースで勉強した先輩も参加し、楽しい時間となった。子どもたちはジュース売り場を担当し、盆踊りにも参加した。子どもたちの家族も一緒に夏祭りに参加した。

*この取り組みは、文化庁委託事業「生活者としての外国人のための日本語教育事業」として実施しています。

(9) 課題

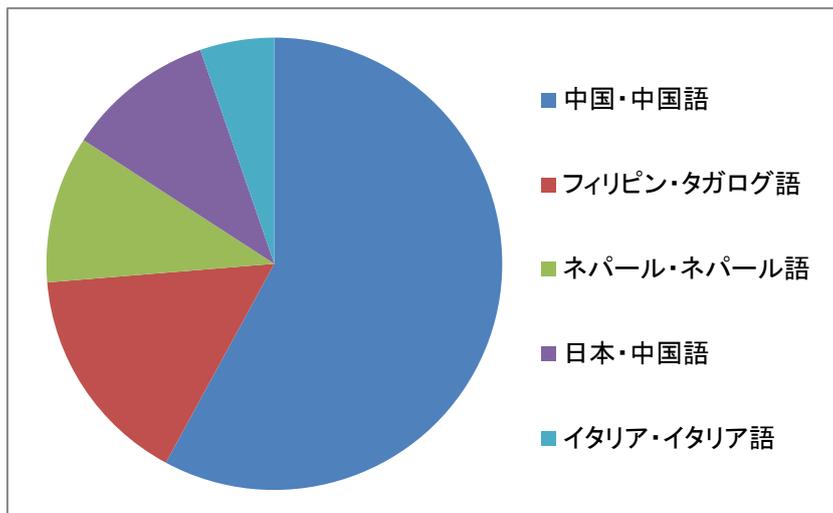
「勉強に役立つ日本語クラス」を実施している、夏休みの 3 週間以外の時期に来日する子どもへのサポート体制の確立が必要である。現在、既存の神戸YWCA学院日本語コースのレギュラーコースやプライベートレッスンで対応できる子どもは少数であり、また来日時期がさまざまであるため、新しいクラスを設置することも困難である。

今後も「今すぐに日本語学習支援が必要な子どもがいる」という問い合わせがあったときに、いつでも日本語学習の初期指導ができる体制づくりが必要となる。

3. 参加者の国籍等について

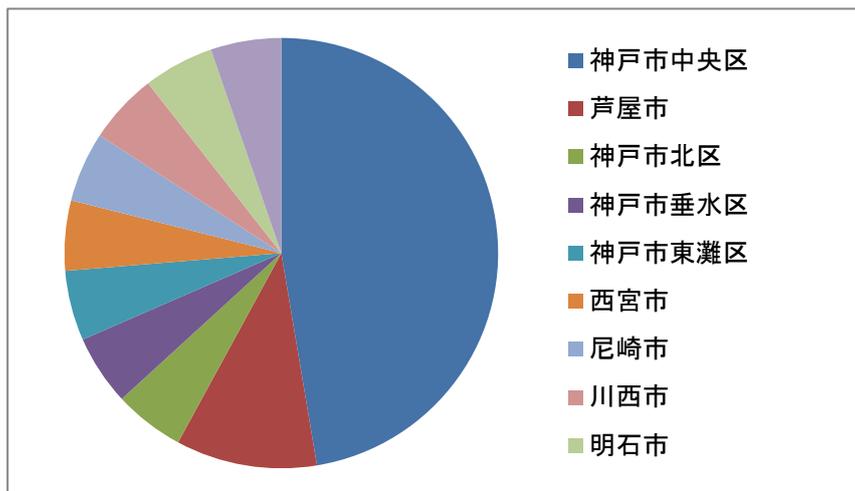
(1) 国籍・母国語

- 中国・中国語 11人
- フィリピン・タガログ語 3人
- ネパール・ネパール語 2人
- 日本・中国語 2人
- イタリア・イタリア語 1人



(2) 居住地域

- 神戸市中央区 9人
- 芦屋市 2人
- 神戸市北区 1人
- 神戸市垂水区 1人
- 神戸市東灘区 1人
- 西宮市 1人
- 尼崎市 1人
- 川西市 1人
- 明石市 1人
- 淡路市 1人



全 19 人

(3) 学習者の集め方

- ・子どもたちの所属する学校からの申し込み
- ・地域のボランティア教室のからの紹介
- ・兵庫県国際交流協会、神戸市教育委員会などの紹介
- ・保護者からの申し込み
- ・「勉強に役立つ日本語クラス」修了生からの紹介

4. 実績

(1) 出席状況

出席率 92%

主な欠席理由は、病欠や学校の登校日のため。

(2) プレイメントテストについて

より支援の必要な子どもたちをサポートできる効果的なクラス編成のために、プレイメントテストを実施している。

内容は、①ひらがな（50音・拗音）、②文法、③読解 ④インタビューの4種類である。

今年度は33人の申し込みがあり、そのうち19人で2クラスを作った（クラス1は8人、クラス2は11人）。

また、来日して間がなく日本語力がほとんど身につけていないため、より支援が必要とされる子どもの応募が多かったため、日本語の聞き取りができ話す力のある14人は断わらざるを得なかった。そのような子どもたちの受け皿として、今年度は学校の宿題をサポートする「宿題クラス」を作り、神戸YWCAで学ぶ機会を作った。

(3) 学習者の声

修了式でスピーチ発表を行い、一人ひとりの感想を聞いた。

どんなことを勉強したかという学習内容や、ただ単に「楽しかった」「おもしろかった」という感想のほかにも、「日本へ来たばかりのときは、国へ帰りたかった。でも、こうやってYWCAで勉強してみて、友だちも増え、今はがんばって日本語を勉強しないといけないと思っている。」といった、このプログラムに参加することで生まれた心境の変化を語る子どもたちもいた。

(4) 先輩の進学先

神戸YWCA 学院日本語コースのレギュラーコース等を経て...

県立国際高校	県立東灘高校	徳島大学
県立神戸甲北高校	県立長田商業高校	甲南大学
県立西宮香風高校	県立芦屋国際中等学校	立命館大学
県立尼崎工業高校	県立芦屋高校	神戸大学工学部
県立舞子高校	兵庫県立大	鳥取大学 ほか

神戸市教育委員会・兵庫県教育委員会が主催する進学ガイダンスでは、毎年、「勉強に役立つ日本語クラス」の修了生が、後輩たちのために高校入試に関するスピーチやアドバイスを行っている。

5. 後援・協力団体等

(1) 後援

神戸市教育委員会 兵庫県教育委員会

(2) 協力団体

NPO法人フリーヘルプ

(3) 寄付

◇寄付者名（個人）

青木伸也 青山恵子 秋月雅子 姉川洋一 荒木真也 井上勝盛 井上みち子 梅川玲子
奥優伽子 小野木愛 柏原和美 片山恵 亀井容子 川関敏恵 川辺比呂子 木下吉郎
木下清子 後藤安子 小室こゆみ 斎藤美穂 坂本好也 澤村典子 塩見洋子 島村正
清水威秀 下川潤 白野光造・妙子 関正敏 武田多美 多田昌史 玉越裕美子 茶本卓子
津戸真弓 鶴崎祥子 手島千景 内藤信子 中尾廣美 長野尚代 中原経夫 中原芙美
西岡容子 橋本和子 八田享子 原田節子 東根順子 平芳幸子 福井武司 藤井美智子
藤本紀子 細田初江 真下由美 増田征子 三浦啓子 水野マリ子 水町啓子 村上由記
村田美恵子 モーアアン 本地真穂 守屋暁甫 矢木富美江 山崎恵 山本泰子 匿名（3人）

◇寄付者名（団体）

株式会社漢和 文明堂印刷所

（2016年9月30日現在）

(4) 主な経費について

○講師給

日本語指導のスキルを持つプロフェッショナルな日本語教師により、日本語を第二言語として効果的に指導する体制での実施が必要である。

○テキスト作成費

前述のように、このクラスで使用するテキストは、神戸YWCAが独自に開発したオリジナル教材である。長年の日本語教育における経験に基づいた独自の視点で編み出されたテキストが、子どもたちの短期間での集中した日本語学習に大いに役立っている。

お問い合わせ

神戸YWCA 学院 日本語コース

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10
tel. 078-231-6303 fax. 078-231-6692
e-mail: saito@kobe.ywca.or.jp
www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

（ワイ・ダブリュー・シー・エー
（Young Women's Christian Association）は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語
や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社
会参画を進め、人権や健康や環境が守られ
る平和な世界を実現する国際 NGO です。